

DC外部給電システムの使い方

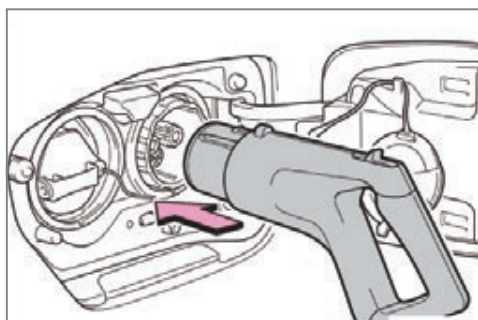


V2H接続イメージ

bZ4Xの場合

1

外部給電コネクタを急速充電インレットに挿し込み、外部給電コネクタをロックする。



2

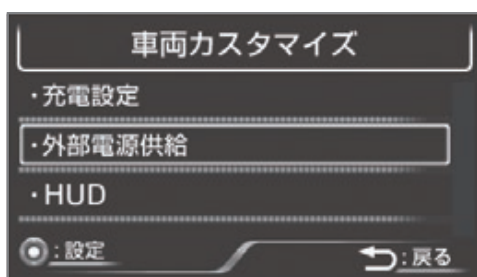
ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを2回押して、ONモードにする。

3

マルチインフォメーションディスプレイの 画面で、メーター操作スイッチの / を押して (車両カスタマイズ) を選択し、 を押す。

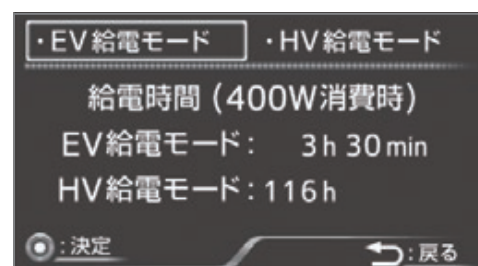
4

メーター操作スイッチの / を押して「外部電源供給」を選択し、 を押す。



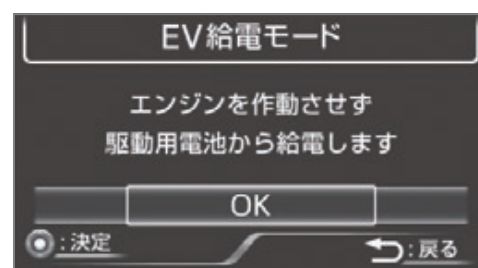
5

メーター操作スイッチの / を押して「EV給電モード」を選択し、 を押す。



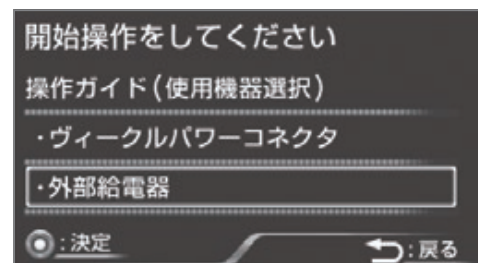
6

を押す。



7

必要に応じてメーター操作スイッチの / を押して「外部給電器」を選択し、 を押す。



8

外部給電器で開始操作をする。

9

充電インジケータが点滅から点灯にかわったら、接続した電気製品の電源をONにする。

DC外部給電システムの使い方

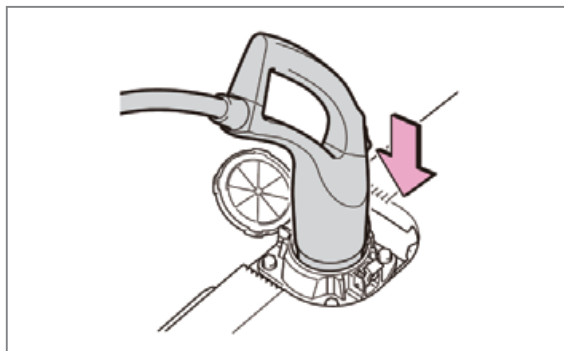


外部給電アウトレット (ボンネット下コンパートメント内)

MIRAIの場合

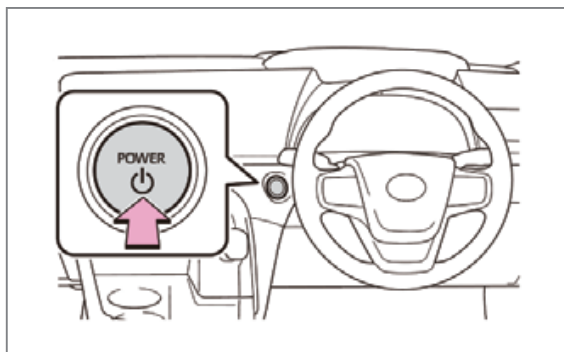
- 1 外部給電器の手順に従い、給電コネクターを外部給電アウトレット (ボンネット部) に挿し込んでください。

外部給電コネクターを挿し込むときに給電ケーブルがボデーに接触してしまうことがあります。ボデーに傷などつかないようにご注意ください。外部給電コネクターの形状や取り扱い方法などは、外部給電器のタイプにより異なります。外部給電器の取扱書に従って、作業を行ってください。



- 2 ブレーキペダルを踏まずに、パワースイッチを2回押してONモードにします。

メインディスプレイに“イグニッションON”と表示されていることを確認してください。ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押すと、FCシステムが始動してしまい、DC外部給電システムが使用できません。



- 3 外部給電器の手順に従い、外部給電器の給電操作をしてください。

特定の外部給電器によっては、パワースイッチがOFFになり、給電が停止する場合があります。そのときは、停止から2分以上あけてから、再度②から実施してください。

- 4 マルチインフォメーションディスプレイに表示される使用上の注意に関する画面を確認し、メーター操作スイッチの「OK」を押してください。



DC外部給電システムを 安全にお使いいただく上での注意事項

お守りいただかないと思われ事故の原因となり、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。詳しくは取扱書をご覧ください。か販売店におたずねください。

以下はBEVの場合の注意事項になります。

(FCEVの場合は一部異なる注意事項がございます。詳しくは車両に付属の取扱書をご確認ください。)

[DC外部給電システムの使用中は]

■シフトポジションをPからほかのシフトポジションに切りかえることはできません。 ■外部給電器の出力上限以上の電力を使用した場合、外部給電器が出力を制限したり、給電を停止したりすることがあります。 ■車両側の定格出力以上の電力を使用した場合、車両が給電を停止することがあります。 ■スマートエントリー&スタートシステムでドアを解錠・施錠することはできません。 ■ワイヤレスリモコンでドアの解錠・施錠をすることができます。使用する電気製品から発生するノイズにより、正常に作動しない場合があります。(メカニカルキーでもドアを解錠・施錠することができます。) ■ドアの開閉などにより、ブザーが鳴ったり、マルチインフォメーションディスプレイに「キーが見つかりません キーの所在を確認してください」と表示されたりすることがあります。 ■気温が低いときまたは高いときは、出力を制限または停止することがありますが、異常ではありません。その場合は、使用する電気製品を減らしてください。 ■走行中はDC外部給電システムを使用できません。 ■使用する電気製品によっては、周囲のテレビやラジオに雑音が入ることがあります。 ■炎天下など、車内が高温になる状態で使用すると、システムを保護するためにDC外部給電システムが自動で停止することがあります。その場合は、いったん外部給電コネクターを取りはずしてから、車両を日陰に移動するなどして車内の温度を下げ、再度、DC外部給電を開始してください。 ■特に外気温が低いときは、駆動用電池を保護するため、DC外部給電システムを使用できないことがあります。その場合は、いったん外部給電コネクターを取りはずしてからしばらく走行するなどして、駆動用電池を暖めてから使用してください。 ■外部給電器に車両に異常があるようなメッセージ(例えば、「車両に異常が見つかりました」、「車両故障発生」など)が表示されても、車両の異常ではなく、外部給電器と車両間の通信異常である可能性があります。この場合、外部給電コネクターの端子故障(接点不良)などが考えられます。外部給電器に付属の取扱説明書を確認してください。

[DC外部給電システムを使用する時の警告]

■傾いた場所や坂道などに止めて使用しないでください。使用中に車両を移動させたり、傾けたりしないでください。 ■誤って手を入れないようにボンネットは閉めてください。 ■可燃物や危険物を車両の近くに置かないでください。 ■給電を開始する前に、接続した電気製品の電源がOFFになっていることを確認してください。電源がONになっていると、電気製品が突然作動するおそれがあります。 ■車両をカーカバーなどで覆った状態で使用しないでください。 ■お子さまなど、不慣れな方だけで作業を行わないでください。 ■外部給電コネクターと急速充電インレットは、必ず直接接続してください。外部給電コネクターと急速充電インレットとのあいだに、変換アダプターや延長コードなどを接続しないでください。 ■落雷の可能性がある天候のときはDC外部給電システムを使用しないでください。使用中、雷に気づいたときにはDC外部給電システムを停止してください。 ■外部給電コネクター・急速充電インレットに異物がないか、または雪・氷が付着していないか確認してください。付着している場合は、外部給電コネクターを接続する前にしっかりと取り除いてください。 ■外部給電コネクター・急速充電インレットの端子に金属製の鋭利なもの(ピンや針金など)を挿し込まないでください。

[DC外部給電システムがおよぼす影響について]

■植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は、次のことを必ずお守りください。医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。 ●給電中は車内にとどまらない ●給電中は車内・外部給電器・ケーブルから十分に距離をあげ近づかない